



あおぞらいぶらりー 宜野湾市立中央公民館 図書室だより 3月号(375)

新着図書案内

「あの家に暮らす四人の女」三浦しをん/著 中央公論新社

ここは女たちの地上の楽園?! シングルだけど、「一人、じゃない。女たちの本音と夢があふれ出す、阿佐ヶ谷の古びた洋館・牧田家。家の平和を守る老人、「開かずの間」の秘密、ストーカー男の闖入など、牧田家の豊かで見守る暮らしを描く。織田作之助賞受賞作。



「死刑にいたる病」榎木理宇/著 早川書房

鬱屈した日々を送る大学生、寛井雅也に届いた一通の手紙。それは稀代の連続殺人鬼・榛村大和からのものだった――。



この他、新着図書
多数取り揃えて
います★



「寒の海に沈む果実」恩田陸/著 講談社

三月以外の転入生は破滅をもたらすといわれる全寮制の学園。二月最後の日に来た理瀬の心は揺らめく。閉ざされたコンサート会場や湿原から失踪した生徒たち。生徒を集め交霊会を開く校長。図書館から消えたいわくつきの本。理瀬が迷いこんだ「三月の国」の秘密とは?この世の「不思議」でいっぱいのお話。



春

近頃暖かくなり、春が近づいてきたようですね。今回はそんな「春」に関連した本をピックアップ! 本を読んで春をもっと身近に感じてみませんか?

「春」に関連する本

『もう はるですね』 いわむらかずお(作・絵) 至光社

春が来ると雪はどこへ行くの? 子リスの兄弟が雪どけ水を追って行くと....

早春の森の空気があふれ出て読者を春の喜びで包む。色をおさえた美しい絵本。



Pick up!!

ひなまつり特集

3月3日は「ひなまつり」の日! ということで、図書室おすすめの本をご紹介します!
本を読んで、ひなまつりのイベントをもっと楽しもう!!

「もりのひなまつり」こいでやすこ/作 福音館書店

ある日、のねずみたちから「森のひなまつりをしたいので、おひなさまを森に連れてきて下さい」という手紙が届いたねずみばあさん。そこで、ねずみばあさんはおひなさまといっしょに森に出かけました。ところが、動物たちと楽しく過ごした後の帰り道、降り始めた雪でおひなさまたちが汚れてしまってさあ、大変!



山形や京都の古いおひなさまや、現代のおひなさまを丁寧に観察して描いた絵本。



「ひなまつりにおひなさまをかざるわけ」瀬尾七重/作 岡本順/絵 教育画劇

時代と共にその姿を変えていったひな祭り。人形にけがれを移し、その年の無事を願うひな祭りの精神を、今の子どもたちに伝えるよう絵本で紹介。昔の人々の素朴な風習を想像しながら、ひな祭りが楽しめる。

図書室からのお願い



転勤・卒業に伴う引っ越しの季節です。
新しい生活が始まるその前に、返し忘れていた本は早めに返しましょう。
また、住所や電話番号に変更のある方は図書室までお知らせください。



● 3月のお休み ●
・毎週火曜日、第3金曜日(資料整理日)

● 図書室イベント ●
★...よみかかせ会



3月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				